

カレッジ里山 花実の森 活動報告(2016 年 7 月-2) 第 71 号

活動日 2016 年 7 月 17 日(日)		時間 9:30~12:00	天候 (曇り)	記録者 (菅田)
公募参加者 12 家族 35 名 スタッフ 13 名	(スタッフ) 磯野彰夫 菅田忠志 松本治美 小林澄夫 清水英暢 俵貴志子 橋野美子 山田喜義 田路義弘 片岡隆夫 板野武市			
	(本部) 四方理事 市原理事 (財)こうべ市民福祉振興協会 企画広報係			
今回実施した 内容	親子カブトムシ生育観察会(2016 年第 2 回 成虫観察)			
	親子自然体験型環境学習として企画し、(公財)こうべ市民福祉振興協会の協力を得て公募した 2016 年度『親子カブトムシ生育観察会』、年間を通して里山に棲むカブトムシの生育観察をしながら、里山を知り体験するイベント。今回は 2 回シリーズの 2 回目。成虫観察と、持ち帰りペアの飼育ケースに入れる「カブトムシの遊び棒・登り棒」づくりを体験してもらった。 心配していた成虫も、オス・メスのペアで持ち帰ってもらえることが出来た。 しっかり育て観察してもらおう。			
写真記録				



5 月の幼虫観察会と同じ子どもたちが集まってくれた。今日の説明とカブトムシの話のおさらいをしておくよ。



5 月に幼虫観察を行なった生育場所で今日は成虫さがし。金網を撤去し交代しながら掘り起こしていく。



我々が 3 日前に試掘した時には、【少ないなあ、あれだけたくさんいた幼虫はどこへ行ったのか】と心配していたが、子どもたちの探す目はするどい。『いたっ!』『ここにもいたっ!』。 つぎつぎ掘り出してくる。



見つけ出したカブトムシは一旦ケースにまとめることに。
我々が予測していた約倍の成虫(オス・メス合わせて約 40 匹)を掘り出してくれた。



たくさんいたねえ。オス・メスパアで渡すからね。
今回は“こども夢基金”の助成金で買った中型の飼育ケースに、育成マットと餌を入れてプレゼント。



飼育ケースの中に入れる遊び棒・登り棒を自分たちでノコを使っての切断加工。これも自然環境体験のひとつ。2 年生以下の子どもたちには親子の共同作業で作ってもらった。



最後に、里山に棲むカブトムシたちにとって、里山やいろいろな自然が大切な事、カブトムシ以外の生きものも大切な仲間である事、そのことが地球を大切にするということをおさらいして終わりとなった。

しっかり育てて卵を産ませ、家で
幼虫から育てるんだよ～

